



国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「ロータリーはあなた自身から」
— You are the key —

高田ロータリー今年の
スローガン

「友情を深め合い、
ロータリーを楽しく！」



2014～2015年度

国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン
2560地区ガバナー 佐々木昌敏
高田ロータリー会長 齋藤 尚明
幹事 牧野 章一

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
小柳 勝司 佐藤 憲二 石田 誠夫 澤井 祥典
大島 誠 堀井 靖功 永井 謙

第5回例会 ■ 8月1日(金)

No.5

会長挨拶 ● 齋藤 尚明

皆さんこんにちは。第5回例会です。本日は佐々木ガバナーの公式訪問です。あらためまして、ようこそおいで下さいました。

先程、RI第2560地区佐々木昌敏ガバナーと今井芳夫地区財務委員をお迎えして懇談会をさせて頂きました。私と牧野幹事、大谷ガバナー補佐、橋本副会長、水上会長エレクト、中田青少年委員長そしてローターアクトクラブ永井会長と瀬川幹事が出席しました。

クラブの現状や会員増強などについてざっくばらんにお話しして、ガバナーからも忌憚のないお話をうかがいました。ローターアクトクラブの二人も現在のクラブ状況や活動をお話しして適切なアドバイスを頂いていました。

これから佐々木ガバナーより講話をして頂きます。その後写真撮影を行い、各委員長さんに出席頂きクラブ協議会を開催いたします。クラブの現状と各委員長の方針と抱負を話して頂き、それに対しガバナーの御意見をうかがいます。

そしてその後は、皆様お楽しみの懇親会です。先週私は新会員の方は是非御出席くださいとお願い申し上げました。今日は多くの新会員の方々より御出席いただきありがとうございます。

佐々木ガバナーはお酒の方はいくらでも大丈夫のようですので、どうぞお勧めして懇親を深めて頂けたらと思います。

出席報告

出席率 100%

ビジター

佐々木昌敏君 (2014-2015年第2560地区ガバナー)

小千谷RC)、大谷光夫君(第7分区ガバナー補佐)、今井芳夫君(地区財務委員 小千谷RC)、永井真衣君(高田RAC会長)、瀬川由樹子君(高田RAC幹事)

メイクアップ

佐藤 信君・勝俣万亀男君(7/26(土)新会員(1～3年)研修会)

セレモニー

新会員スポンサーバッチ贈呈(佐々木ガバナーより) 東山昕也君・宮澤英文君・石倉 悟君・羽深耕時君・本山秀樹君・遠藤 巖君

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

大島精次君——佐々木昌敏ガバナー公式訪問に際して

東山昕也君——佐々木昌敏ガバナーの公式訪問を祈念して

大谷光夫君——これから始まる一年間ご支援ご協力賜りますようお願いいたします

会長・幹事——佐々木ガバナーをお迎えして

羽深耕時君——佐々木ガバナーをお迎えして

羽深耕時君——先日、妙高カントリーで行われた220人のコンペでイン③⑧・アウト③⑧グロス76で回りました。隠しホールに恵まれず14位でした

職業分類・会員選考・R情報委員会

会員の職業分類変更及び職業分類項目の追加について

幹事報告

配布物：週報4号、ロータリーの友8月号

報告：8月のロータリーレート102円/ドル

佐々木昌敏ガバナー講話 『ロータリーと私』



幼少の頃

新潟県刈羽郡小国村に、昭和16年太平洋戦争開戦の年生まれました。祖父は大正、昭和米穀商として敏腕をふるって財をなし、商才で得た金で地主としての立ち位置を確立しました。父は醤油の醸造業を興し、地元でそれなりの業といたしました。

高校、大学の頃

祖父は戦後農地解放で全て無に帰り、醤油の醸造業だけが残りました。西に傾いた落日の家運の中、商業高校へ進むことに何の迷いもなかったし、家族も同じ気持ちでした。そして家族の反対を押し切り大学へ、その後は銀行へと親の意に沿わない道を選び続けました。

銀行時代

バブル最盛期に銀行支店長家業がスタートしました。住友銀行磯田頭取は、“取引先の発展にいかに貢献できるか、銀行業績はその一点にかかっている”と号令をかけるなど、都銀、地銀問わず競って取引先の発展に貢献しようと努めました。しかしバブルははじけ、銀行には不良債権の山だけが残り残りました。そして考え方も、我が田に水を引く考え方が主流になってきました。業績も反転し、厳しい低迷期に入って行ったのです。

起業

転職を考えはじめていた頃、三条支店長の命を受けました。三条市は人口8万で社長が1万人いるといわれるほど実業の街です。商売一筋の人生だった私には非常に楽しく、水を得た魚の如きハツラツとした日々でありました。銀行での実績は100点満点でも、銀行内部の評価は正反対でした。そこで会社を起そう！と決意しました。

家族の合意

業を起すにはいくつかの条件が必要です。妻はあなたはその気ならなさればよいという。子供は父さんが勝手にやるのは構わないが、俺たち4人の息子に負の資産を残されては困る、数字で説明してもらいたい。親子の立場が逆転することを言い出した。妻は、タンスの奥から現金7百万円を出してきて、何かのタシになさってくださいと、ほんとうに山内一豊の妻だと思いました。

そののち2年経て、長男が銀行を辞め、役場にいた3男も兄さんと一緒なら僕もと会社に入りました。会社は事業継承が一番難しい。そうだ、子供たちの会社をつくって株主は子供だけにしよう。これからは子供たちの

会社を大きくしよう。新たな思いで事業意欲にスイッチが入ったのであります。

クラブ会長の頃

加茂RC2年、三条RC2年、会社創業5年目に小千谷RCに入会し、会長に就任いたしました。群馬県進出が一段落し、次は山形県へ。業績が一廻り大きくなって安定しました。ロータリー会長は忙しいけど会社も忙しい。業績に直結する多忙感充実の時間であり、事業者冥利に尽きる時間でもあります。

首都圏へ

山形県での成功でやや有頂天になっていた頃、次は首都圏だと先頭になって走り出しました。

好事魔多し、地方から東京へ出て行けば、そこで待っていたのは、最初はサギ師、それから右翼、暴力団、マスコミ風のオドシ屋、それから労働左翼。彼等は皆一流のプロ。思う存分痛めつけられました。眠れぬ夜が続く、体調の悪化が負の連鎖を生み、さらに深みへと。損失額も数億円に達し、もうダメかと灰色の毎日がつづきました。ところがあるとき、私のRバッジをみたある人が力になってくれました。地獄で仏に会った思いでした。九死に一生を得ました。ここを起点として反撃に転ずることができました。現在は多勢の応援団に支えられて首都圏でもいい薬局ができそうな予感がします。

ロータリーに思う

私は小さい頃病弱の身であったことから、強者に従うよりも弱者に眼差しを送ることが強かったように思います。他者を気遣い、思いやる力を身につけることに特別な努力をしてこなかったように思います。ロータリーは、そしてロータリアンは、他者のニーズをいち早く汲みとり、そのニーズ達成にチャレンジしていくことだと思えます。

ガバナーに就任して

私は、ノミニー就任の頃1週間ほど長岡日赤に入院しましたが、生活態度をしっかり守れば大丈夫だからとお墨付きをいただきました。しかし、健康を維持するために1日1万歩歩いています。いまでは、100歳までロータリーを全うしたいと願っています。今73歳ですので、まもなく第4コーナーに差ししかかろうとしているわけです。健康をつくりながら、ロータリアンとして人生を全うしようとするならば、私をとり巻く多くの信号は静かに青に変わると信じています。

本日はありがとうございました。

クラブ協議会

佐々木ガバナー・大谷第7分区ガバナー補佐ご出席のもと各委員会委員長より、今年度の運営方針および事業計画について報告するとともに、佐々木ガバナーよりそれぞれ講評と有意義なアドバイスをいただきました。



歓迎 懇親会

